

2015年度第1四半期 決算説明会

2015年7月31日
株式会社村田製作所

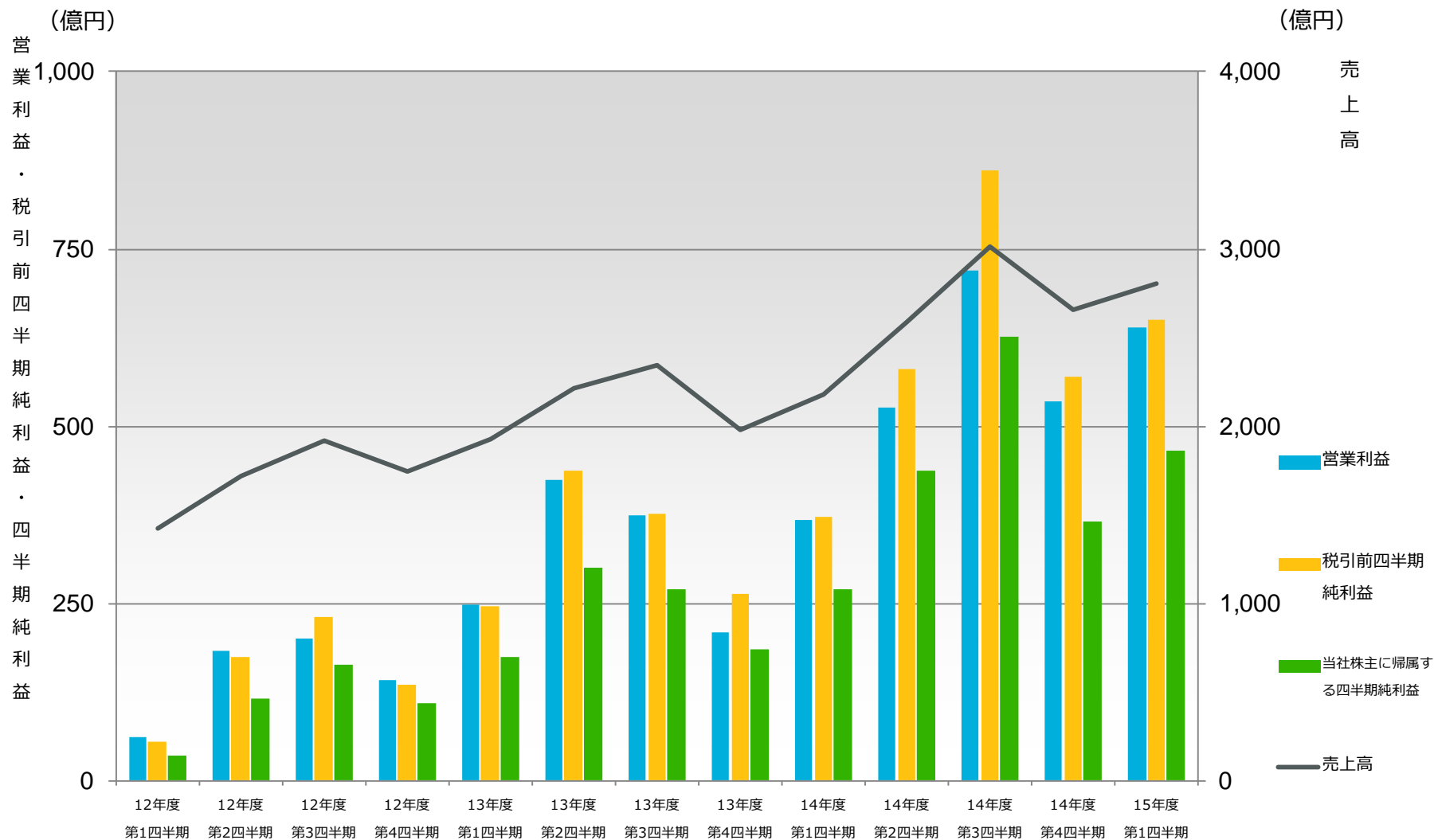


- 当第1四半期の売上高はグローバル対応のハイエンドLTE端末の生産拡大に加え、中華圏セットメーカーのLTE端末の生産拡大およびマルチバンド化の進展により計画を上回った
- 営業利益は前年同期比73%の増加。営業利益率は同比5.9ポイント上昇の22.8%
上期の業績予想に対する進捗率は49%
- 受注は堅調に推移し、注残高は1,269億円と2001年度以降では最高水準
第2四半期以降も堅調な業績を見込む

1. 2015年度 第1四半期業績概要

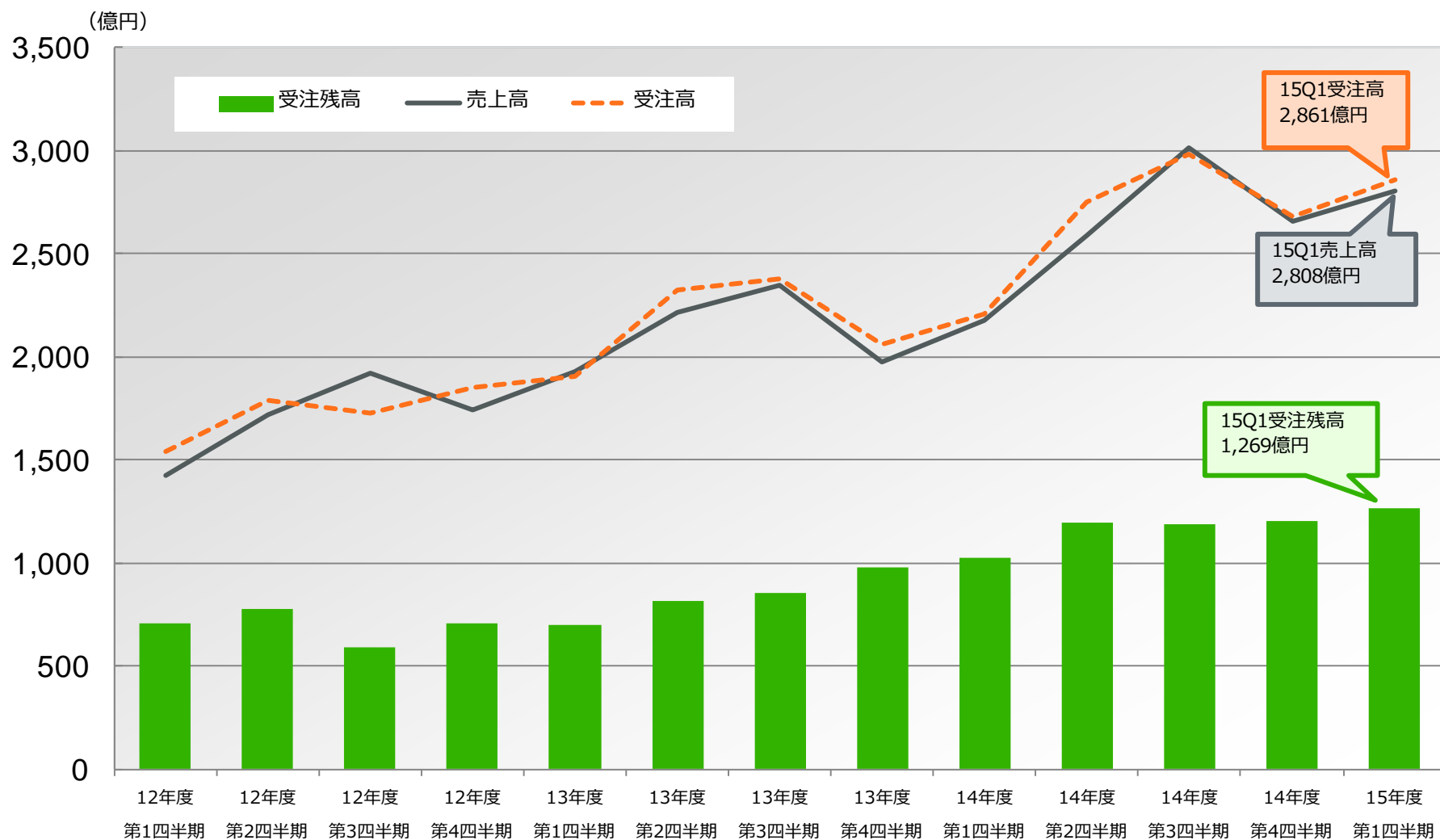
2015年4月～2015年6月
第1四半期連結会計期間

業績推移（四半期）



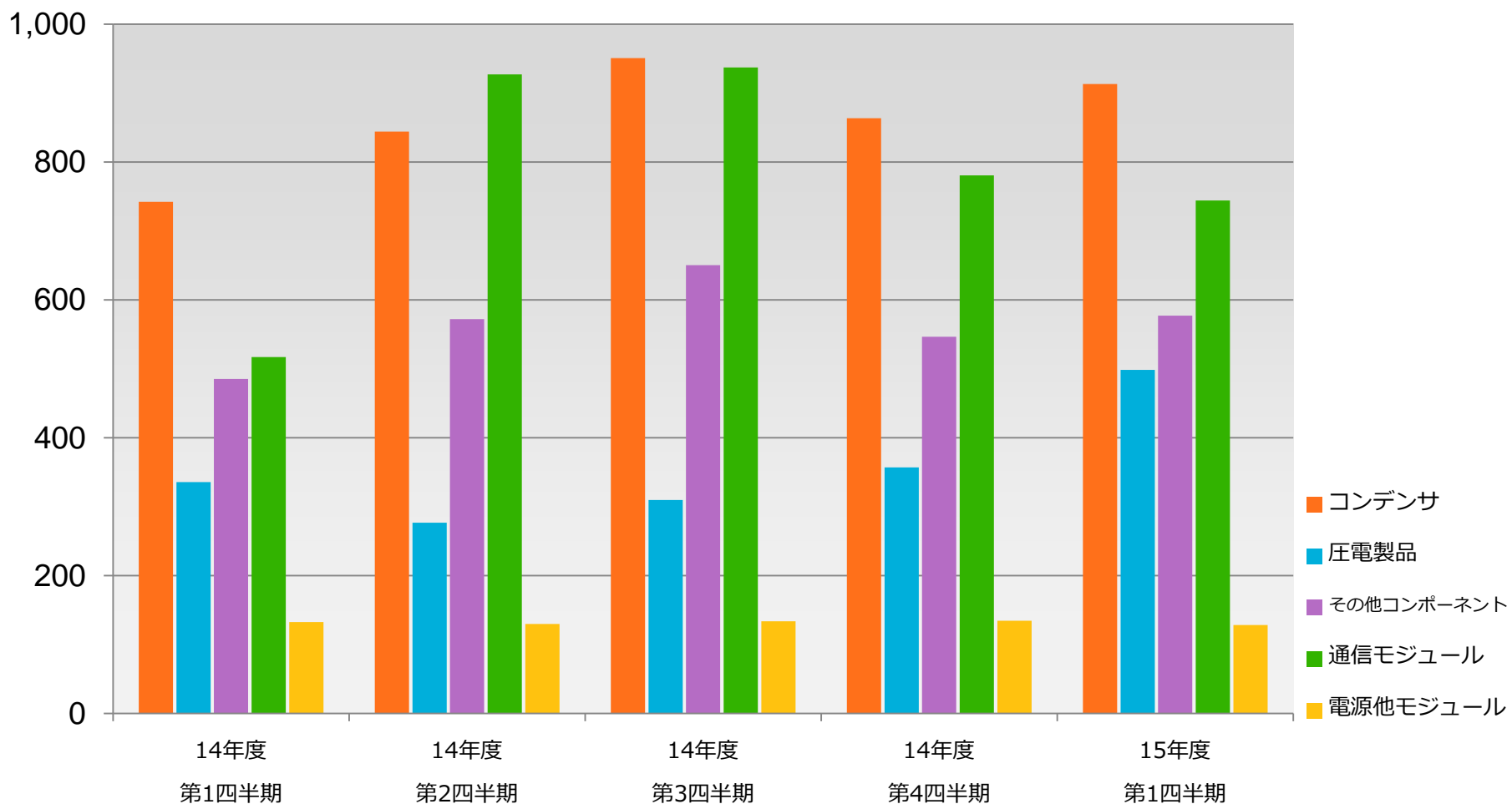
	2014年度 第1四半期		2014年度 第4四半期		2015年度 第1四半期		前年同期比 15Q1/14Q1		直近四半期比 15Q1/14Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	2,180	100.0	2,658	100.0	2,808	100.0	+628	+28.8	+150	+5.6
営業利益	369	16.9	534	20.1	640	22.8	+271	+73.3	+105	+19.7
税引前四半期純利益	372	17.1	569	21.4	650	23.1	+278	+74.9	+81	+14.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	269	12.4	365	13.7	466	16.6	+196	+72.9	+101	+27.5

売上・受注・注残推移（四半期）



製品別受注高推移

(億円)



製品別売上高

	2014年度 第1四半期		2014年度 第4四半期		2015年度 第1四半期		前年同期比 15Q1/14Q1		直近四半期比 15Q1/14Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	698	32.1	866	32.7	891	31.8	+194	+27.8	+26	+3.0
圧電製品	286	13.2	310	11.7	382	13.7	+97	+33.8	+72	+23.2
その他コンポーネント	466	21.4	551	20.8	566	20.2	+100	+21.6	+15	+2.7
通信モジュール	585	26.9	791	29.8	830	29.7	+245	+41.9	+39	+5.0
電源他モジュール	138	6.4	131	5.0	130	4.6	▲8	▲5.6	▲1	▲1.0
製品売上高計	2,171	100.0	2,649	100.0	2,800	100.0	+628	+28.9	+150	+5.7

製品別売上高概況

[2014年度第4四半期→2015年度第1四半期]

コンデンサ (直近四半期比+ 3. 0%)	○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) 小型品・大容量品が通信機器、カーエレクトロニクス向けで伸長
圧電商品 (直近四半期比+ 23. 2%)	○表面波フィルタ 中国LTE端末の需要拡大およびマルチバンド化の進展により大幅に増加
その他コンポーネント (直近四半期比+ 2. 7%)	○コネクタ スマートフォン向けで大幅に増加 ▲センサ MEMSセンサがカーエレクトロニクス向けで減少
通信モジュール (直近四半期比+ 5. 0%)	○近距離無線通信モジュール／通信機器用モジュール スマートフォン向けで伸長
電源他モジュール (直近四半期比▲ 1. 0%)	▲電源 OA機器や家電向けが増加したものの、基地局やカーエレクトロニクス (主にカーオーディオ) 向けが減少

用途別売上高

	2014年度 第1四半期		2014年度 第4四半期		2015年度 第1四半期		前年同期比 15Q1/14Q1		直近四半期比 15Q1/14Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	116	5.4	111	4.2	118	4.2	+2	+1.6	+7	+6.6
通信	1,042	48.0	1,487	56.1	1,640	58.6	+597	+57.3	+152	+10.2
コンピュータ及び関連機器	391	18.0	394	14.9	392	14.0	+1	+0.3	▲2	▲0.5
カーエレクトロニクス	337	15.5	383	14.5	366	13.1	+29	+8.7	▲17	▲4.3
家電・その他	284	13.1	274	10.3	283	10.1	▲1	▲0.4	+9	+3.4
製品売上高計	2,171	100.0	2,649	100.0	2,800	100.0	+628	+28.9	+150	+5.7

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

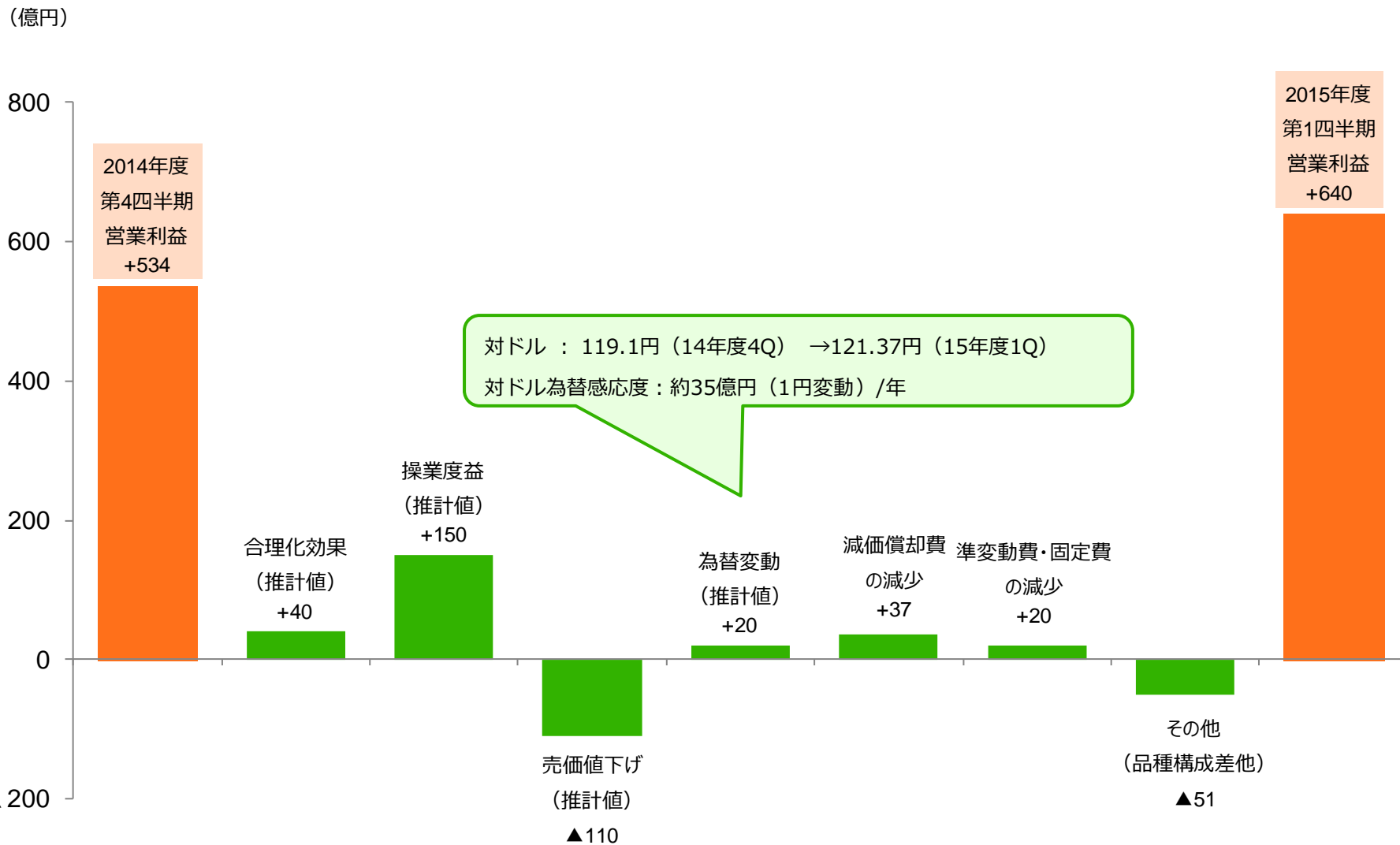
[2014年度第4四半期→2015年度第1四半期]

<p>AV (直近四半期比+6.6%)</p>	<p>○ゲーム機やセットトップボックス向けでMLCCが増加 ▲薄型TV向けでMLCCが減少</p>
<p>通信 (直近四半期比+10.2%)</p>	<p>○スマートフォン向けでグローバル対応端末や中華圏のLTE端末の生産増加により、近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュール、MLCC、表面波フィルタなど、幅広い製品で大きく伸長</p>
<p>コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比▲0.5%)</p>	<p>▲HDD向けで圧電センサが減少 ○プリンタ向けで電源が好調</p>
<p>カーエレクトロニクス (直近四半期比▲4.3%)</p>	<p>○電装化の進展で車載用MLCCが増加 ▲安全装置(ESC)向けでMEMSセンサが減少 ▲カーオーディオ向けで電源が減少</p>

(注) 当社推計値に基づいております

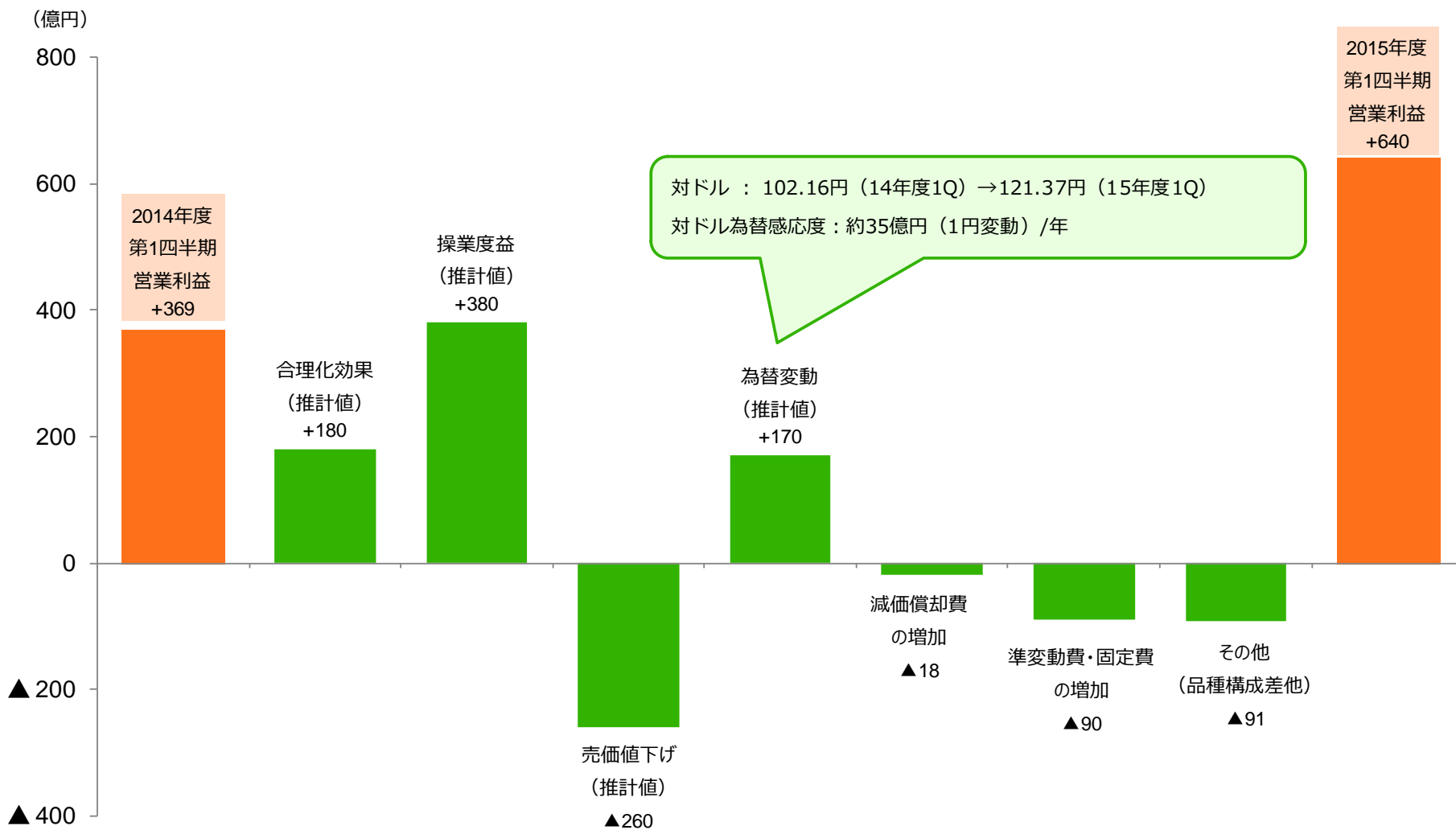
利益変動要因

[2014年度第4四半期→2015年度第1四半期]



利益変動要因

[2014年度第1四半期→2015年度第1四半期]



※ペレグリン社の利益変動要因はその他（品種構成差他）にて表記

2. 2015年度 業績予想

(2015年4月～2016年3月)

2015年度 業績予想

	2014年度 実績		上期予想		下期予想		2015年度 通期予想		増減	
	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比	金額	伸率	金額	伸率
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	10,435	100.0	5,720	5,880	11,600	100.0	+1,165	+11.2		
営業利益	2,145	20.6	1,300	1,200	2,500	21.6	+355	+16.5		
税引前当期純利益	2,384	22.8	1,320	1,200	2,520	21.7	+136	+5.7		
当社株主に帰属する 当期純利益	1,677	16.1	960	870	1,830	15.8	+153	+9.1		

※ 4月公表値の見直しを行っておりません

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

